

週報

こひつじ

第39巻 34号
 大津キリスト教会
 菊池郡大津町室 119
 TEL 096-293-4470
 FAX 096-293-4961
 牧師 米村 英二

生まれつきの盲人

またイエスは道の途中で、生まれつきの盲人を見られた。弟子たちは彼についてイエスに質問して言った。

「先生。彼が盲目に生まれついたのは、だれが罪を犯したからですか。この人ですか。その両親ですか」

イエスは答えられた。
 「この人が罪を犯したのでもなく、両親でもありません。神のわざがこの人に現われるためです」(ヨハネ九の一―三)

その一 不幸の原因は何か

イエスは道の途中で、生まれつきの盲人(ハネ九の三)と。

この箇所が語る第一のことは、

この世には、理由のわからない不

幸があるということだ。

「彼が盲目に生まれたのはなぜで、私が育った家庭にも不幸はあつ

すか」と。

けれどもイエスは、彼らの「なぜ?」の問いにはお答えにならない

かかった。そして言われた。

「この人が罪を犯したのでもなく、旅はつらい出来事だったろう。日

両親でもありません。神のわざが本に帰ってやっと生活が落ち着いこの人に現われるためです」(ヨハネ九の三)

り、長い入院生活を余儀なくされた。そのときわが家は決して明るくなく、暗く、悲しみに

かかえながら、多くの人は生きているのではないだろうか。

クリスチャンといえども例外ではない。

私の信仰上の指導者であった宣教師たちも、つらい病と闘いながら召されて行った。

ポストロムさんは脳腫瘍、ケニさんは前立腺がん、スプアさんはアルツハイマー病、そしてチャックさんはパーキンソン病で亡くなった。

神を愛し、神に仕えた人たちでさえ、そうなのだ。だから私は人生を楽観視しない。イエスも言われたではないか。

「あなたがたは、世にあっては患難があります」(ヨハネ一六の三)

それが人生の現実なのだと思ふ。向田邦子という作家がいた。たいへんうまいエッセイを書く人で、愛読者も多い。

彼女は、ある日、乳がんという診断を受けた。突然のことだった。彼女は思った。自分は今もう長くは生きられないのではないか。そこで遺言状のつもりで、自分が育った家庭のことを思い出すま正直に書いた。それが彼女の最初のエッセイ集となった。

彼女の父親は典型的な戦前の父親で、家庭では君臨し、だれもその権威に逆らうことはできなかった。そんな父親だったが、一度だけ彼女に詫言状を書いてくれたことがあった。そこで邦子はそれに『父の詫言状』という題をつけた。

ところが術後の経過がよく、彼女はすっかり元気になった。すると家族は、自分たちについて書かれたものが本になって世に出たことを不愉快に思った。「家の中のみつともないことを書かれて、きまりが悪くてかなわない」と。

しかしこの本は評判になり、その後、続いたいくつかのエッセイ集で、彼女は直木賞を取る。

突然、有名な作家になったのだ。原稿依頼が殺到し、彼女は寝る時間もないほどだった。

そこで取材をかね台湾へ旅行にひつじ館で。
○証は米村耕一さん。
落すという大きな事故が起こる。
全員死亡だった。

先週の礼拝

友人たちは、まさかと思つたが、
その乗客名簿に向田邦子の名前を
発見した。五一歳だった。直木賞
を取つて一年後だった。

れらには法則があり、それに従え
ば、祝福となり、従わなければ、
のろいとなるのです。
では、自然や人生から祝福を受
けるにはどうしたらよいか。その
ことについて先週は考えてみまし
た。

先週の出席

多くの人は衝撃を受けた。そし
て突然の訃報を悲しみ、思つた。
なぜこんなことが起こるのかと。

第一礼拝が三九名、第二が四三
名、合計八二名(男二八、女五四)
子ども一名。合わせて九三名で
した。

他の宗教であれば、さまざまな
角度から不幸の原因を探るだろう。
しかし、私たちの神はそれには
お答えにならない。イエスもお答
えにならない。

愛は変わりません。どんな場合も、
神は私たちをゆるし、受け入れ、
慰め、励まし、導いてくださるで
しょう。イスラエルの民は、正し
くなかつたのに、神は彼らを豊か
に恵んでくださいました。私の過
去を振り返つてもそうです。

定期演奏会案内

不幸の原因はわからないのだ。
それが聖書の答えなのだと思う。
しかし、イエスは、不幸の目的
について言われた。
「神のわざがこの人に現われるた
めです」と。

私たちの教会の吉岡裕美さんに
よつて天津少年少女合唱団が結成
されて何年になるでしょうか。練
習はいつも教会の礼拝堂で行なわ
れています。コロナ禍でこの数年
定期演奏会が自由にできないでい
ましたが、今年は、制限なしに行
なわれます。

今日の礼拝

第一礼拝は午前一〇時から、
第二礼拝は午前一一時から。
○教会学校は午前一〇時からこ

神が、私たちを祝してくださるの
は、神が、法律を超えた方である
からです。
九月二四日(日)午後一時半開

料。会場は天津町文化ホール(五〇
〇人収容)。いつも満席です。ぜひ
早めにお出かけください。
二階東側のカウンセリングル
ームの冷房機がきかなくなりまし
た。設置して一三年がたつてい
るので修理は無理とのことでしたの
で交換しました。費用は一三万八
千円。
毎月第一日曜日は米村牧師に
代わり、岩崎宏志さん、江藤洋子
さん、坂田壮一さん、林田はるか
さん、西岡潤也さん、宮元隆博さ
んの六人が順に説教してくださつ
ています。ご奉仕、感謝です。こ
れから第一日曜日、第二礼拝後に、
二階東側のカウンセリングルーム
で、一五分ほどの説教者の会を開
きたいと思ひます。短く感想を語
り合い、ともに祈ります。これか
らの教会を養う器として成長して
いただきます。

雑報

牧師のメールアドレス。

yonemura@ja2.so-net.ne.jp